



2026年4月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月21日

上場会社名 株式会社ヤガミ 上場取引所 名
コード番号 7488 URL <https://www.yagami-inc.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 小林 啓介
問合せ先責任者（役職名） 取締役経営管理部長（氏名） 佐貫 匡 TEL 052-951-9252
半期報告書提出予定日 2025年11月28日 配当支払開始予定日 2025年12月26日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年4月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月21日～2025年10月20日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年4月期中間期	5,392	3.1	1,094	15.8	1,122	15.6	767	23.3
2025年4月期中間期	5,230	9.6	944	17.9	970	19.3	622	20.9

（注）包括利益 2026年4月期中間期 783百万円（ 19.5%） 2025年4月期中間期 655百万円（ 14.4%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年4月期中間期	146.33	—
2025年4月期中間期	118.66	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年4月期中間期	18,113	13,858	76.5
2025年4月期	18,546	13,553	73.1

（参考）自己資本 2026年4月期中間期 13,858百万円 2025年4月期 13,553百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年4月期	—	83.00	—	91.00	174.00
2026年4月期	—	146.00	—	—	—
2026年4月期（予想）	—	—	—	138.00	284.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日（2025年11月21日）公表の「2026年4月期第2四半期（中間期）業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2026年4月期の連結業績予想（2025年4月21日～2026年4月20日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,042	1.5	2,134	9.7	2,182	9.6	1,487	14.3	283.60

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日（2025年11月21日）公表の「2026年4月期第2四半期（中間期）業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年4月期中間期	5,300,000株	2025年4月期	5,300,000株
2026年4月期中間期	54,843株	2025年4月期	54,801株
2026年4月期中間期	5,245,187株	2025年4月期中間期	5,245,283株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におきましては、国内における半導体製造装置向けの需要拡大に伴い産業用機器の販売が好調であったほか、民間向けを中心としたAEDの受注も堅調に推移したことから、売上高53億92百万円(前年同期比3.1%増)、営業利益10億94百万円(同15.8%増)、経常利益11億22百万円(同15.6%増)となりました。また株式会社平山製作所の完全子会社化に伴い、当期より非支配株主に帰属する中間純利益がなくなった影響で、親会社株主に帰属する中間純利益は7億67百万円(同23.3%増)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

理科学機器設備

学校校舎の長寿命化改修工事に伴う実習台・収納戸棚類の納入は、期首から活発であった前期を下回ったものの、東アジア地域における滅菌器の販売が堅調に推移したことにより、売上高は27億86百万円(前年同期比1.3%減)、セグメント利益は5億70百万円(同5.2%増)となりました。

保健医科機器

新規案件の獲得や買い替え需要の取り込み等によりAEDの売上が伸長したほか、健康診断器具など学校向け保健室設備品の販売も前期を上回ったことから、売上高は13億53百万円(前年同期比10.3%増)、セグメント利益は2億70百万円(同30.7%増)となりました。

産業用機器

国内外における環境試験装置の販売が伸び悩んだものの、半導体製造装置向けの国内設備投資が活発化し、保温・加熱用電気ヒーターの販売が好調であったことから、売上高は12億52百万円(前年同期比6.0%増)、セグメント利益は2億81百万円(同27.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は181億13百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億33百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が3億40百万円、リース投資資産が2億8百万円、商品及び製品が1億93百万円増加した一方、有価証券及び投資有価証券が9億77百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が3億3百万円減少したこと等によるものであります。負債は42億55百万円となり、前連結会計年度末に比べて7億38百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金が1億58百万円増加した一方、未払金が5億94百万円、賞与引当金が1億65百万円減少したこと等によるものであります。純資産は前連結会計年度末に比べて3億5百万円増加し138億58百万円となり、自己資本比率は76.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ29億59百万円減少し、33億81百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、5億66百万円(前年同期は6億62百万円の獲得)となりました。これは主に、法人税等の支払額3億79百万円、棚卸資産の増加額2億22百万円、リース投資資産の増加額2億8百万円、賞与引当金の減少額1億65百万円があった一方、税金等調整前中間純利益が11億22百万円、売上債権及び契約資産の減少額3億36百万円、仕入債務の増加額1億76百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、23億88百万円(前年同期は2億22百万円の使用)となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入30億円があった一方、定期預金の預入による支出53億円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、11億37百万円(前年同期は8億44百万円の使用)となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出6億59百万円、配当金の支払額4億77百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年4月期の連結業績予想につきましては、当中間連結会計期間の業績等を踏まえ、2025年5月30日に公表いたしました内容を修正しております。

詳細につきましては、本日(2025年11月21日)公表の「2026年4月期第2四半期(中間期)業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年4月20日)	当中間連結会計期間 (2025年10月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,340,489	8,681,405
受取手形、売掛金及び契約資産	1,738,328	1,435,186
電子記録債権	837,071	804,173
リース投資資産	779,265	988,249
有価証券	1,200,192	100,010
商品及び製品	1,148,828	1,342,557
仕掛品	158,075	194,925
原材料及び貯蔵品	451,361	443,729
その他	145,220	145,949
貸倒引当金	△512	△537
流動資産合計	14,798,319	14,135,649
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	515,113	521,035
土地	1,346,573	1,346,573
建設仮勘定	90,885	91,943
その他(純額)	49,957	70,363
有形固定資産合計	2,002,530	2,029,916
無形固定資産		
電話加入権	4,492	4,492
ソフトウェア	12,652	20,669
ソフトウェア仮勘定	3,648	83,077
無形固定資産合計	20,793	108,239
投資その他の資産		
投資有価証券	976,255	1,098,740
繰延税金資産	413,747	406,594
長期預金	300,000	300,000
その他	35,632	35,101
貸倒引当金	△329	△329
投資その他の資産合計	1,725,305	1,840,106
固定資産合計	3,748,629	3,978,262
資産合計	18,546,948	18,113,912

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年4月20日)	当中間連結会計期間 (2025年10月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	401,520	559,957
電子記録債務	984,296	963,177
リース債務	57,515	58,268
未払金	740,747	145,959
未払法人税等	393,615	367,997
契約負債	683,691	661,568
賞与引当金	411,124	245,745
その他	212,963	156,354
流動負債合計	3,885,475	3,159,028
固定負債		
リース債務	233,526	205,222
退職給付に係る負債	397,375	404,353
役員退職慰労引当金	201,221	211,096
その他	276,345	275,531
固定負債合計	1,108,468	1,096,203
負債合計	4,993,943	4,255,232
純資産の部		
株主資本		
資本金	787,299	787,299
資本剰余金	865,928	865,928
利益剰余金	11,839,611	12,129,842
自己株式	△34,837	△35,020
株主資本合計	13,458,002	13,748,050
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95,003	110,629
その他の包括利益累計額合計	95,003	110,629
純資産合計	13,553,005	13,858,680
負債純資産合計	18,546,948	18,113,912

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月21日 至 2024年10月20日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月21日 至 2025年10月20日)
売上高	5,230,336	5,392,313
売上原価	3,048,882	3,024,522
売上総利益	2,181,453	2,367,791
売上利益調整		
繰延リース利益戻入額	8,760	18,989
繰延リース利益繰入額	41,800	70,793
差引売上総利益	2,148,414	2,315,986
販売費及び一般管理費	1,203,424	1,221,587
営業利益	944,989	1,094,398
営業外収益		
受取利息	1,964	16,241
有価証券利息	6,339	7,768
受取配当金	3,594	3,934
不動産賃貸料	316	314
受取保険金	1,609	—
受取補償金	10,000	—
その他	2,734	1,743
営業外収益合計	26,559	30,002
営業外費用		
支払利息	206	440
為替差損	—	833
その他	611	872
営業外費用合計	818	2,146
経常利益	970,731	1,122,254
特別利益		
固定資産売却益	1,635	—
特別利益合計	1,635	—
特別損失		
固定資産除却損	717	152
特別損失合計	717	152
税金等調整前中間純利益	971,649	1,122,102
法人税等	311,239	354,557
中間純利益	660,409	767,544
非支配株主に帰属する中間純利益	38,017	—
親会社株主に帰属する中間純利益	622,391	767,544

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月21日 至 2024年10月20日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月21日 至 2025年10月20日)
中間純利益	660,409	767,544
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,024	15,626
その他の包括利益合計	△5,024	15,626
中間包括利益	655,384	783,171
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	617,367	783,171
非支配株主に係る中間包括利益	38,017	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月21日 至 2024年10月20日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月21日 至 2025年10月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	971,649	1,122,102
減価償却費	41,782	28,827
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6,572	6,978
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	9,528	9,874
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△175,867	△165,379
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	347	24
受取利息及び受取配当金	△11,898	△27,944
受取保険金	△1,609	—
受取補償金	△10,000	—
支払利息	206	440
固定資産売却損益 (△は益)	△1,635	—
固定資産除却損	717	152
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	181,377	336,039
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△45,021	△222,946
リース投資資産の増減額 (△は増加)	△116,432	△208,984
仕入債務の増減額 (△は減少)	93,012	176,607
リース債務の増減額 (△は減少)	△24,135	△27,550
その他	25,907	△106,675
小計	944,502	921,565
利息及び配当金の受取額	11,130	24,749
利息の支払額	△0	△1
保険金の受取額	1,609	—
補償金の受取額	10,000	—
法人税等の支払額	△304,438	△379,631
営業活動によるキャッシュ・フロー	662,803	566,682
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,800,000	△5,300,000
定期預金の払戻による収入	1,800,000	3,000,000
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△200,000	△100,000
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	—	100,000
有形固定資産の取得による支出	△19,354	△73,023
無形固定資産の取得による支出	△2,770	△15,612
その他	△101	385
投資活動によるキャッシュ・フロー	△222,225	△2,388,251
財務活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△659,960
自己株式の取得による支出	—	△183
配当金の支払額	△844,707	△477,081
財務活動によるキャッシュ・フロー	△844,707	△1,137,224
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17	△290
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△404,146	△2,959,084
現金及び現金同等物の期首残高	7,607,177	6,340,489
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,203,030	3,381,405

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社および連結子会社の税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月21日 至 2024年10月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注)
	理科学 機器設備	保健医科 機器	産業用 機器			
売上高						
日本	2,446,880	1,020,596	514,239	3,981,716	—	3,981,716
アジア	182,267	1,263	651,176	834,708	—	834,708
その他	192,556	—	15,906	208,462	—	208,462
顧客との契約から生じる収益	2,821,704	1,021,859	1,181,323	5,024,886	—	5,024,886
その他の収益	—	205,449	—	205,449	—	205,449
外部顧客への売上高	2,821,704	1,227,308	1,181,323	5,230,336	—	5,230,336
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,821,704	1,227,308	1,181,323	5,230,336	—	5,230,336
セグメント利益	542,390	206,747	221,593	970,731	—	970,731

(注) 1. セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。

3. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に基づく収益であります。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月21日 至 2025年10月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注)
	理科学 機器設備	保健医科 機器	産業用 機器			
売上高						
日本	2,296,756	993,440	702,962	3,993,159	—	3,993,159
アジア	338,030	1,684	499,677	839,391	—	839,391
その他	151,466	—	50,013	201,479	—	201,479
顧客との契約から生じる収益	2,786,252	995,124	1,252,652	5,034,030	—	5,034,030
その他の収益	—	358,283	—	358,283	—	358,283
外部顧客への売上高	2,786,252	1,353,408	1,252,652	5,392,313	—	5,392,313
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,786,252	1,353,408	1,252,652	5,392,313	—	5,392,313
セグメント利益	570,408	270,135	281,710	1,122,254	—	1,122,254

(注) 1. セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。

3. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に基づく収益であります。